

福
広報

かじき

全ご家庭に、もれなく配布

第116号

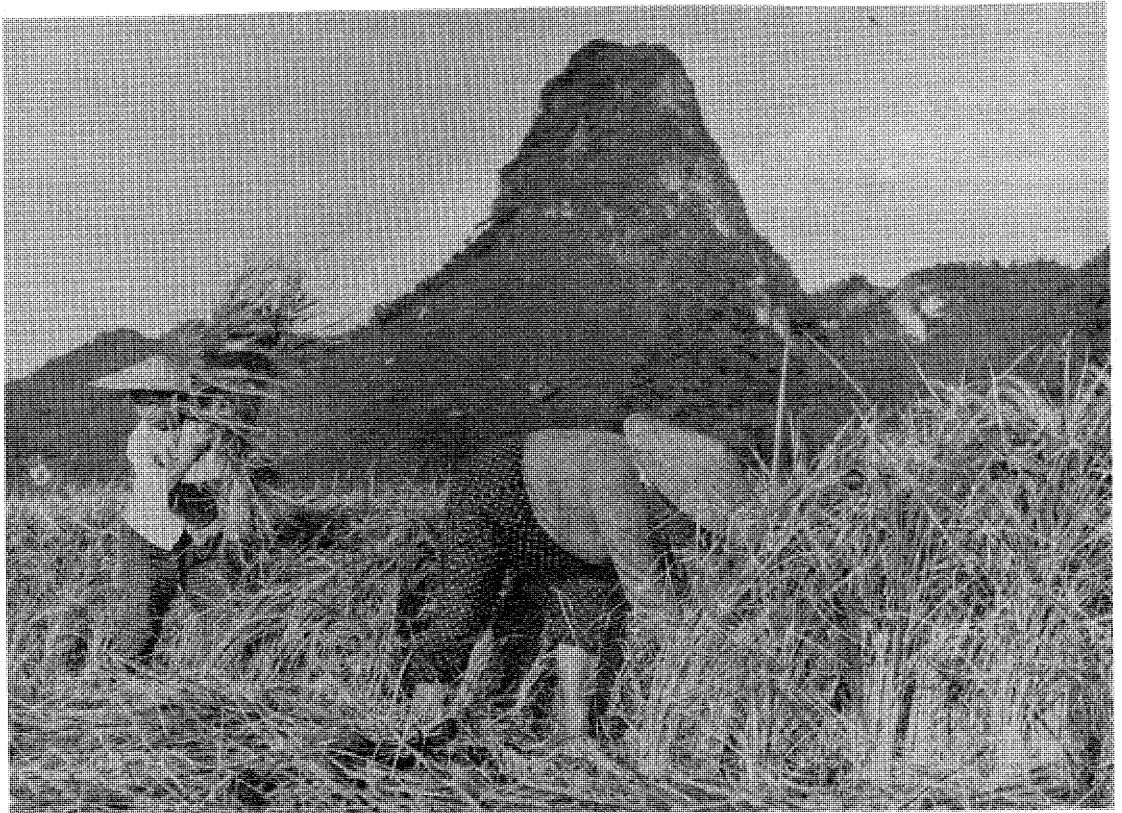
41.11.5 発行

発行所 鹿児島県始良郡
加治木町役場

発行人 曾木隆輝

編集人 中元邦夫

印刷所 吉屋印刷



みのりの秋

11月を和名で「しもつき」といいます。奥儀抄という本に「11月、霜しきりにふる故に霜降月といい、ちぢまって「しもつき」という」とあります。

農家では稲の刈り取りや脱穀、甘しよの取り入れなど、ことし最後の忙しさですが収穫のよろこびを味わう豊かな季節です。

「今年しゃ台風も来じ、良かでびごあんさ、実も重ごあんど」と、おばさんたちは刈りながら話してくれました。

23日は「勤労感謝の日」。農家では新穀への感謝の日です。農家のかたがたとともに、豊作の秋をよろこび、一日をゆつくり意義ある日としたいものです。（写真は吉原附近の稲刈り）

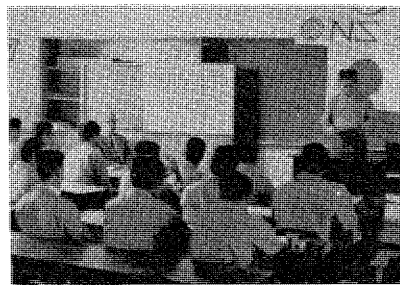
農村青年建設班生まる

第二次産業、第三次産業の所得より、低所得であるということから、農業者の後継青年が都会に流出しつつある今日「われわれこそ今後の農村後継者なり。」と、町内農村青年が結束し九月二十日町消防庁舎会議室で結成式をあげました。農林省の指定を受けておそろいの作業服を身につけたこれら青年は、本町の農業の現況を勉強し本町農業の未来象を大きく掲げ、九州大農業地帯の開拓に乗り出すために、年六回の定期集合研修と、来年一月から一か月間、合宿研修を行なうように計画されており、寝食を共にして、今後の



おそろいの作業服に張り切る班員

農業者としての基礎知識と技能を習得して、豊かで明るい農村建設に、力強くまい進しようと志気をもり上げております。
班員氏名
日木山 緒方勇。石川勝光。今村 静。
西別府 新寿。西村勝。榎谷考一
榎谷則良。内村忍。内村



これからの事業計画を聞く班員

小山田 清己。山口波人。石原悟。日高功。日高鉄夫。東川内肇。川内貞夫。東木重夫。大宮路鶴美。日高深。前村勝男。
木田 川添誠。
以上二〇名で、平均年齢は二二、三歳。

国民年金制度

国民年金制度は、昭和三十四年に法律ができて同じ年の十一月から福祉年金の支給が始まり、昭和三十六年四月からは制度の中心である拠出年金(保険料を納めること)が実施されました。現在町内に被保険者が四千一百六人おられ

拠出年金の受給者(母子年金、障害年金)が二〇人、福祉年金の受給者にいたっては約九四二人であるのうち、老齢福祉年金の受給者が七四一人となっております。拠出年金が始まって以来、今年

で五年目を迎えた現在では、全国的に被保険者数がおよそ二千万人という大世帯に成長するとともに国民年金制度が老後の生活を守るため、また万一の事故に備えるための社会保険制度として十分活用してもらうため、第五十一回通常国会で国民年金法の一部を改正する法律案が可決成立したことは、みなさまご承知のとおりであります。この年金法の一部改正によって夫婦で一万円年金の実現、という

老齢年金額六万円(現行二万四千円)をはじめ、母子年金額五万五千二〇〇円(現行一万九千二〇〇円)障害年金額六万円(現行二万四千円)など大幅に引き上げられた改正であります。この引き上げは昭和四十二年一月から実施されます。なお老齢年金や障害年金などの大幅な年金額の引き上げにより、これに必要な経費をまかなうために、収入のほうも確保しなければなりません。

年金給付の費用は、被保険者が拠出する保険料と国庫負担分(半額)によってまかなわれております。そこで、保険料についてもある程度の引き上げが必要で、今度の大幅な引き上げに応じて次のように改められました。
▲二〇歳から三四歳まで二〇〇円(現行一〇〇円)
▲三五歳から五九歳まで二五〇円(現行一五〇円)

以上が今度の改正点であります。国民年金制度をますます発展させるために、被保険者皆さんのご協力をお願いします。
「しらぬ間に積んだ年金 老後は笑顔」

買物は 町内の商店で

自衛隊

二等陸・海・空士募集

応募資格 満十八歳以上二十五歳未満の男子、中学校卒業程度
試験科目 国語(作文を含む)および口述試験
受付期間 十月一日から十二月三十一日まで

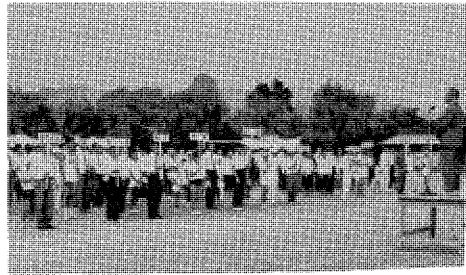
自衛隊生徒

(少年自衛隊)募集
応募資格 満十五歳以上十七歳未満の男子、中学校卒業程度
第一次試験 十一月中旬
科目 国語(作文を含む) 数学 社会、理科、英語
第二次試験 十二月上旬
科目 口述試験、身体検査、適性検査
受付期間 九月一日から十一月十九日まで

転入、転居の手続き

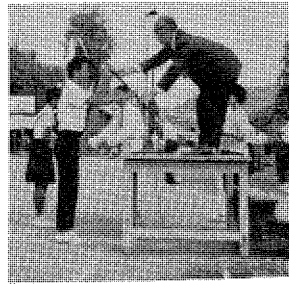
転入、転居の届け出は、十四日以内にしてください。
▲転入、転居届けをするときは、印鑑、米穀通帳、国民健康保険証
(国民年金加入者は、国民年金手帳をお忘れなく。)
▲選挙資格に関する手続きも、受付に申し出てください。
▲転出の場合も同じです。

15地区対抗でにぎわう 第18回町民体育祭



閉会式々ルールを守り大変よくできました

町民多くの人たちを運動に親しんでいただき、体位の向上とスポーツレクリエーションを通じて町民お互いの融和団結を図り、友好親善の情を深める目的で毎年開催されている町民体育祭は、例年十一月に開催されていましたが、今年国民の祝日十月十日「体育の日」加治木中学校グラウンドで午前九時三十分から選手二、一二人の参加を得て盛大に開かれました。特に、今年には部落組織が自治会制度にかわってはじめの一五地区対抗十種目競技には全種目出場が心配されていましたが、各地区部落自治会長、地区自治会世話人、体育保健部長学校、関係、各種団



優勝おめでと

体の協力により立派に体育祭を終ることができました。この体育祭を通じて創意工夫する楽しさを知り、一つの目標に向って互いに協力することのたのしさと、力強さをお互いを知ること

ができたことは大きな成果といえます。なお、当日の成績は次のとおりです。

- 一位 錦江第一地区 一〇四点
- 二位 城南 " 九二
- 三位 城南 " 八八
- 四位 城北 " 八六
- 五位 錦江第二 " 七六
- 六位 錦江第三 " 七二
- 七位 城西 " 七〇
- 八位 永原第二 " 六五
- 九位 竜門東元 " 六四
- 〇位 竜門東浦 " 五九
- 二位 中野 " 四九
- 三位 永原第一 " 四六
- 三位 竜門西浦 " 四二
- 四位 辺川 " 三六
- 五位 竜門西元 " 三四

11月9日から町美術展

今年は西郷南洲翁書や加治木刀剣など展示

8回目を迎える町美術展は、11月9日から3日間わたり柁城小講堂、図書館、郷土館の三会場で開催されます。今年には特に、西南の役九〇周年にあたりますので同役に関係のある西郷南洲翁書や、加治木刀剣も展示されます。みなさんの観覧をお待ちします。

開催期日

11月9日から3日間(毎日午前

9時から午後4時まで)

会場

- 〇第一会場 柁城小講堂(書道)
- 〇第二会場 町立図書館(南洲書並びに加治木刀展示)
- 〇第三会場 町立郷土館(歴史関係陳列)

火の用心

正しく使おう石油ストーブ

やめよう……寝たばこ

十一月二十六日から火災予防運動が始まりますが、皆さんのご家庭でも十分に対策をねってくださいます。毎年くりかえし叫ばれていてもあいかわらず火災は起こっています。しかも大火災が多く、ことに最近の傾向として焼死者がたくさん出ているということです。家を焼き、尊い人命を失う…悲惨というほかありません。

俳句会開催

11月13日10時

加治木俳句会では、毎月第一土曜を定例日として、郷土館日本間で創作三昧にふけていますが、十一月は特に、13日午前10時から加治木温泉飛龍閣で行ないます。俳句に興味をもたれる方はふるって参加して下さい。毎月の定例会でもお待ちしております。

わたしたちの

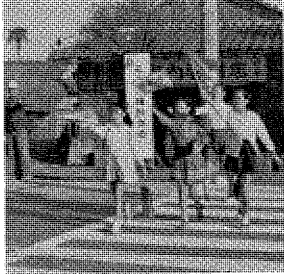
生活目標

- ◎わたしたち加治木町民はきまりを守って明るい町をつくりましょう。
- ◎12月5日に町長選挙が行なわれます。お互いの良識で追放しよう選挙違反。

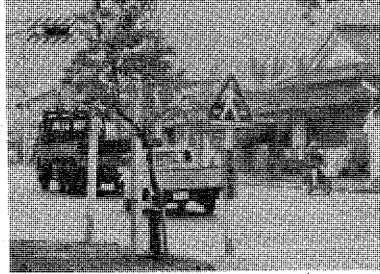
交通安全モデル部落 の設置さめる

加治木町交通安全町民会議

九月二十九日県合同庁舎で、加治木町交通安全町民会議が開かれ、各官公署、学校、会社および団体の代表のかたがたが集まり、最近の交通事故から犠牲者を出さないように、歩行者も運転者も十分交通法規や道徳をまもり事故を未然



向江
西町モデル横断歩道



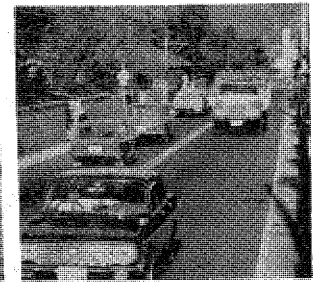
西
南江町モデル横断歩道



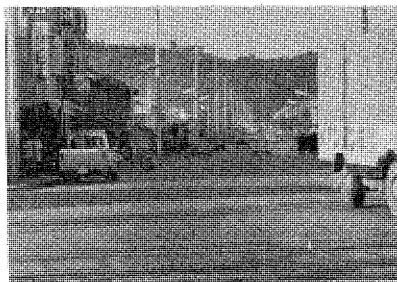
端山モデル横断歩道

県民手帳のあっせん
県民手帳が入荷しております。
ご入用の方は総務課企画
消防係で購入してください。
一冊百円

に防ぐよう検討がなされ、今後の実施要項などきめました。
主なものを紹介します。
交通安全モデル部落の指定
岩原（東、西）、下新道
モデル横断歩道の設置
向江町、西町、端山



モデル部落"岩原"



モデル部落"新道"

住みよい町づくり 郵便貯金がひと役

国民の生活を豊かにするにはまず、住みよい町づくりをすすめることが必要です。
郵便貯金は、この町づくりに大きな役割を果たしております。郵便貯金は今三兆円に達しようとしておりますが、このお金の約六〇パーセントが国の財政資金となつて、住宅建設や学校、病院の施設

改善、農林業の振興、道路の整備など、公共施設の拡充のため、市町村に貸し出されております。つまりみなさんの郵便貯金は個人の生活を守るだけでなく、住みよい加治木町づくりに役だっております。加治木町にもみなさんの郵便貯金のお金が一億九千五百万円貸し出され、町内各学校、住宅、道路建設資金として使われて

失業保険に加入しましょう

失業保険に加入している事業所は県下で約七千被保険者は十二万五千人であります。失業保険に加入するには、次のような事項が、主となっております。

- ひとりでも労働者を雇用している未加入の事業所は早めに入ってください。
- 五人以上の労働者を雇用する事業主は、失業保険の「当然適用事業主」になります。農林水産教育、研究、調査事業を行なうものは除かれます。
- 「当然適用事業」以外の五人未満の労働者を雇用する事業主も一定の要件に該当すれば県知事（「安定所経由」に申請し認可を受けて「任意適用事業主」となることができます。
- 「当然適用事業主」「任意適用事業主」になり、失業保険が「当然適用」される予定になっております。
- 「当然適用事業主」「任意適用事業主」に雇用された労働者は原則として、失業保険の被保険者になります。
- 失業保険料額は一般失業保険で毎月の賃金総額の千分の十四であります。
- 日雇失業の保険料は失業保険印紙で納入するしくみになっております。
- 事業主の事務負担の軽減をはかるため、事業主の加盟している事業主の団体（商工会、協同組合等）が県知事の委託により、事業主が行なうべき失業保険に関する事務を代行して処理することもできます。

おります。
郵便貯金や簡易保険がふえればそれだけ国の公共投資用の財政が豊かになり、地方自治体にも多く還元されることとなります。
これから年末にかけて供米代金やボーナスなど収入が多いので、少しでも多く郵便貯金にまわし郷土加治木町の発展に役だたせてください。（加治木郵便局）

明正選挙

町民みんな
明るく正しい選挙運動を
盛り上げよう。
加治木町明るく正しい
選挙推進協議会

郡畜産共進会開かる

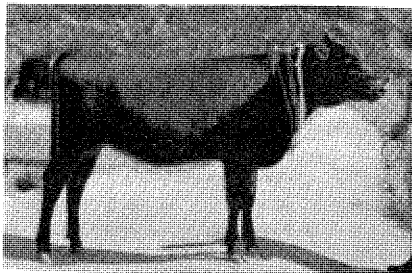
15名全員そろって入賞

九月二十六日、二十七日の二日間、日当山家畜市場で、郡畜産共進会が開かれました。

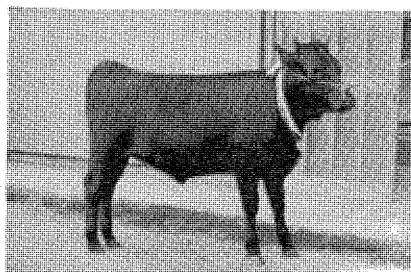
和牛一三四頭。種豚六五頭、乳牛一八頭が出品され、審査を受けた結果、当町からの出品者一五名が全員各種目に入賞しました。種目別の出品者および成績は次のとおりです。

△当才牛

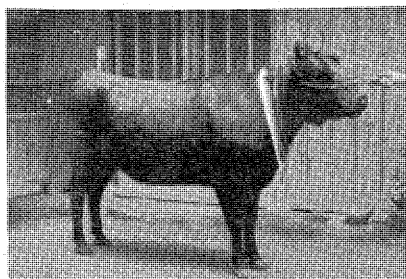
- 一等賞 満留武二(小山田)
- 二等賞 穂満三郎(木田)
- 三等賞 城満志(木田) 有村ヨシ子(日木山)



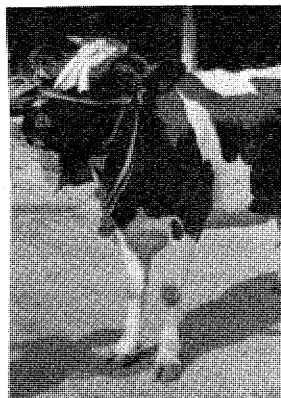
当才牛一等賞(満留武二)小山田



当才牛一等賞(穂満三郎)木田



二才牛一等賞(石川克己)日木山



乳牛一等賞(西村照夫)西別府

△三才牛

- 二等賞 内村靖夫(小山田)
- 三等賞 新智恵(西別府) 内村美良(小山田) 石川克己(日木山)

△種豚

- 二等賞 屋所勲(小山田) 柚木昆子(朝日町)
- 三等賞 馬庭秀治(反土)

△乳牛

- 一等賞 西村照雄(西別府)
- 二等賞 岩穴口茂(木田)

なお、乳牛一位の西村照雄氏は十一月九日、十日鹿児島市場で行なわれる県畜産共進会の県ホルスタイン協会主催乳牛共進会に出品することになりました。

青色申告のおすすめ

所得税では、毎日の取り引きを正確に記帳することによって、いろいろ有利な取り扱いを受けられる制度が設けられており、これを青色申告制度と言っております。

青色申告者の数は最近非常にふえており、昭和四十一年三月現在では、その普及割合は六三パーセントになりました。(加治木税務署管内の普及割合は四六パーセントで、もっと皆さんのご努力を期待しております。)

このように青色申告者がふえたのは、納税者の関心が高まったこと、経営の合理化に役だつことなどが理解されたためと考えられます。

振替納税制度のご利用を

十一月は、所得税の予定納税第二期分を納める月であります。税金を期限内に、確実に納めるには、銀行、信用金庫、農協などの預金口座から振替によって納税する方法があります。十一月納税にはぜひ、この便利な制度を利用されるようお願いいたします。

「納税者の声を聞く旬間」

税金に対する苦情や要望、税務職員の状態や取り扱いに対する不満や意見を、広く納税者から積極

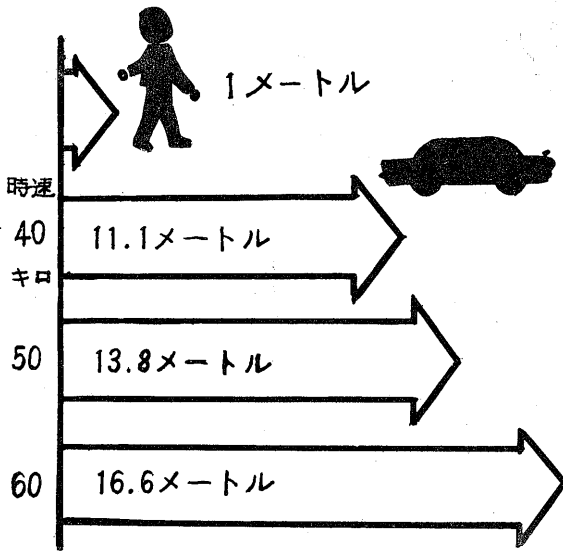
香典返しを寄付

社会福祉協議会へ

香典お返しのかかりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

- 金額
- 千円 御遺族 故人
- 新中 沢崎豊二 (義母屋敷シオミツ)
- 三千円 新中 戎 透(妻ハル子)
- 二千円 港 町 岩切 基(次男久男)
- 千円 下新道 池上秀夫(母ツタ)
- 五千円 西諏訪 大内山礼子(夫茂樹)
- 五千円 札立 安藤 直(母しげ)
- 五千円 石野 石野 巖 (母よし)
- 特別 寄附
- 昭和四十一年度町消防施設資金として一、〇〇〇円
- 反土城 岩沢藤男

1秒間にすすむ距離 (車と人)

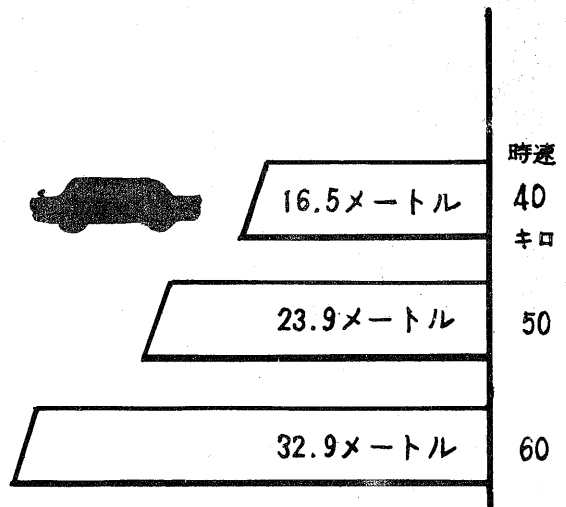


あなたの安全のために

これだけは知っておこう

1. 車のスピードに対する判断を身につけましょう。
歩行者が幅一〇メートルの道路を横断するのに一〇秒かかりますが、時速四〇キロの車はその間に一〇〇メートル走りまゝです。
2. 車は、ブレーキをかけてもすぐには止りません。
3. 車には死角があります。
車の構造上、運転席からはどうしても見えない場所があります。発進には十分注意しましょう。

急ブレーキで止まるまでの距離



国民年金未加入者は 今すぐ加入しましょう

国民年金の被保険者には当然加入しなければならぬ強制被保険者と、希望して加入する任意加入被保険者の二つがあります。

強制加入被保険者とは、おもに農、林、漁業に従事する人や自営業にたずさわる人となっております。

任意加入被保険者とは、被用者年金制度の加入者（船員保険、厚生年金保険、共済組合）の配偶者となっております。

強制被保険者で、二〇歳から五九歳までの国民はみんな加入しなければなりません。この年齢の範囲内で現在一ばん問題になる年齢は、昭和六年四月から昭和七年三月まで生まれた人です。

農地報償の手続は早目に

終戦後の農地改革で強制的に売り渡された農地について、政府から地主へ農地報償（農地被買収給付金）が支払われることは、皆さんすでにご承知のとおりであります。

給付事務はすでに、昨年の八月から始まっております。まだ手続きのすんでいない方がだいぶあります。

申請の期限は昭和四十二年三月三十一日までとなっております。期限を過ぎますと権利放棄ということになり支払いを受けることができなくなります。

該当する方は、早目に手続きをしてください。

申請の受付は、町農業委員会で行なっております。

昭和六年四月以降生まれた人は最低二十五年間保険料を納めなければ年金の受給資格がなくなりまゝすので、まだ国民年金に加入していない人は昭和四十二年三月までに加入しなければ一生、国民年金の恩恵が受けられなくなりますので、今すぐ国民年金係まで申し出てくださいます。

「はいろいろ、かけよう、